

# 第5回白鷹町まちづくり複合施設等整備事業町民会議

平成28年2月12日（金）

午後7時

あゆむ文化伝承室

## 次 第

1. 開 会
2. 挨拶
3. パブリックコメント状況報告について
4. 町民ワークショップ（グループワーク） \*詳細別紙
  - ① 今回の提案に対する要望整理
  - ② 各グループより意見発表
5. その他
6. 閉 会

◆白鷹町まちづくり複合施設整備事業パブリックコメントの内容とその回答について

白鷹町企画政策課

NO	意見	回答
1	和室はお茶室としても使用したいので床の間、水屋を設置してほしい。	今後、利用用途もあわせて、検討してまいりたいと思います。
2	他市町村に誇れる木造の施設建設を望みます。	大変ありがとうございます。なるべく多くの白鷹町産木材を利用した町民に親しまれる施設建設にしていきたいと思います。
3	大ホールをあゆ一むやパワーセンターにない大人数収容できる中央公民館らしい特徴をもった有意義な大ホールにしていきたい。(緞帳、ステージのある。)	本施設につきましては、現在の中央公民館機能と同規模を想定しており大ホールの整備までは想定しておりません。ホール機能については既存施設との役割分担を行って活用していきたいと考えております。
4	大会議室を1階に、図書館を2階に設置してほしい。また旧中央公民館大ホールの規模の大きさ、設備を備え、図書館については4人掛けのテーブルの設置をお願いしたい。	大会議室、図書館の配置については、町民会議の議論においても町民の多くが利用する図書館を1階に設置していただきたい旨の要望により現在の配置になりました。また、大会議室については、現在の中央公民館機能と同規模を想定しており大ホールの規模までは想定しておりません。ホール機能については、他施設との役割分担を行いながら、既存施設を活用していきたいと考えております。図書館のテーブル等設備については、実施設計の中で検討してまいります。
5	民家の近くにバイオマスエネルギー棟の設置予定地があるが、騒音や振動等の影響を考え民家から一定の距離をとって建設するようになっていただきたい。	近隣の方々へは十分に配慮させていただきたいと考えております。ご意見いただいた内容については、今後とも設計者と協議し慎重に進めていきたいと考えております。

◆白鷹町まちづくり複合施設整備事業パブリックコメントの内容とその回答について

白鷹町企画政策課

NO	意見	回答
6	<p>県道長井白鷹線、仲町一町内の歩道整備が荒砥橋建設にともなう道路整備第3次計画に該当する道路となっていることから、現在の道路から十分余裕を持った距離を確保のうえ建設してください。</p>	<p>荒砥橋建設にともなう影響については確認をしているところです。今後の道路計画に沿って一定の距離を保つよう整備を行いたいと考えております。</p>
7	<p>非喫煙者です。受動喫煙防止の観点から公共施設については全面禁煙であることが望ましいということは理解しております。しかし、「まちづくり複合施設」は有事の際の避難所として機能するものですので、避難所として活用する際には「敷地内全面禁煙」ではない限り、防火の観点から「喫煙場所」の指定が必要と思います。</p>	<p>ご意見いただきました内容については、今後検討させていただきたいと思っております。</p>
8	<p>木質バイオマス加工施設の見通しはどうなっているか。</p>	<p>複合施設には、木質バイオマスボイラーの導入を検討しています。加工施設の立ち上げについては、民間事業者が主体的に取り組めるように検討する必要があると考えております。</p>
9	<p>白鷹町産の木材を最大限に活用できる事を願います。また林業、製材業等木に関わるお仕事が町内にできればと思っております。</p>	<p>当施設へは町産木材を最大限に活用するよう努めてまいります。また、今後の林業振興につきましてもあわせて取り組んでいきたいと考えております。</p>
10	<p>町民ラウンジについて、展示スペースの確保、飲食のできるスペース、給湯設備、幼児用トイレの設置を望みます。</p>	<p>町民会議の皆様からも同様の意見をいただいております。実施設計の中で検討してまいります。</p>

◆白鷹町まちづくり複合施設整備事業パブリックコメントの内容とその回答について

白鷹町企画政策課

NO	意見	回答
11	防災センターについて、風呂、シャワー室、給湯調理設備ができる場所がほしい。	設備については、実施設計の中で検討していきます。
12	防災センターに備蓄倉庫が必要ではないか。	備蓄倉庫については、関連施設全体の中で設置について調整させていただきます。
13	施設内外で使用する用具などは白鷹産の木を使い、町内の技術者の力を合わせて作っていただければいいと思う。	町内の技術者の皆様にご協力をいただきながら町産材の活用を行っていきたいと考えます。
14	町民への説明について町報で提示しないのは何故なのか。また、パソコンを持っていない人への配慮というものが無いのか。	中間報告資料が多いため、町報にはパブリックコメントの実施のお知らせと、概要を掲載させていただき、報告原本は白鷹町パブリックコメント実施要綱により役場、中央公民館、各地区コミュニティセンターへの設置、町ホームページ掲載とさせていただきました。
15	まちづくり複合施設町民会議メンバーの公表がなぜないのか。	町民会議メンバーの公表については、構成委員に対する負担軽減から公表しておりません。

◆白鷹町まちづくり複合施設整備事業パブリックコメントの内容とその回答について

白鷹町企画政策課

NO	意見	回答
16	立木10,000円/m <sup>3</sup> を最低単価として支払われる仕組みを作る。	価格は行政の仕組みによって決定されるものではありませんが、伐採、搬出の効率化による山元への還元は、後の森林整備につながるものと認識しております。
17	町内施工業者育成・大工技術の伝承のために町内業者下請け率50%以上の確保ができる仕組みを作る。	公共事業を通じた地元業者の育成、技術の伝承については大切な視点であると理解しております。今後検討、研究してまいりたいと考えています。
18	林内路網整備、山林再生、地域内循環を目的とした町独自の事業の確立。	森林整備については、国、県の制度を活用しながら、白鷹らしい林業振興を行っていきたいと考えております。
19	設計業者の提案書の中に「白鷹の木造技術を育み、継承する施設」とあるが町内、製材、建設業者の把握とその業者の発展、後継者育成についてどのように考えているのか。	複合施設建設においては、在来構法による建築を考えており、その中で地元業者、並びに後継者育成に寄与できればと考えております。
20	設計業者の提案書の中に「白鷹町のカーボンニュートラルサイクルを先導」とありますが、森林の活用システム(川上から川下までの流れ)を町民に広く説明し、同意もしくは了解を得ること。	森林活用の川上から川下までの活用については、重要な視点であると考えます。林業事業体、製材、建築と各分野の皆様と連携して事業に取り組んでまいりたいと考えております。

◆白鷹町まちづくり複合施設整備事業パブリックコメントの内容とその回答について

白鷹町企画政策課

NO	意見	回答
21	まちづくり複合施設建設に向けての町民理解についてどのようになっているのか。	これまでもまちづくり座談会や出前講座などで町民の方々に説明を行ってまいりました。今後についてもこれまでどおり丁寧な説明を行ってまいります。
22	まちづくり複合施設建設に対する町産材の価格設定についてどのようにかんがえているか。	価格は行政により設定されるものではなく、市場ベースの経済活動で価格が決定されると思いますが、伐採、搬出の効率化による山元への還元は、後の森林整備につながるものと認識しております。
23	建物の全体配置についてどのような経過でこのような配置になったのか。	建物全体の配置については、道路計画に沿った中での道路から一定の距離を保って計画しております。また全体配置でございますが、今後のまちづくり、既存施設の利用を考えた場合、現在のような配置になりました。敷地の段差についても現在の地形を活用した建築を計画しており建物、利用者に対して無理のかからない設計としております。

# 白鷹町森林・林業再生に向けた将来ビジョン

## 森林の現況

(資源の状況)

- ・面積 : 10,268ha(林野率65%) 民有林 9,287ha(90%)  
民有林人工林 5,303ha(57%)
- ・蓄積 : 2,286千m<sup>3</sup>(人・天)
- ・成長量 : 42千m<sup>3</sup>(人工林)
- ・林齢構成(民有林人工林):  
I ~ VII 11%、VIII ~ X 45%、XI ~ 44%
- ・所有状況: 保有面積5ha未満の林家 92%

- ・H25、26年に豪雨災害が発生
- ・町内の各地で土砂崩壊が多発
- ⇒町民から森林の持つ「多面的機能※1」の持続的な発揮が期待される

## 課題

- ☆森林所有者
  - ・木材価格の低迷や森林所有者の高齢化等で森林整備が進まない
  - ・世代交代等で森林の境界が不明瞭
  - ・森林所有者の森林への関心が薄い
- ☆森林整備
  - ・森林整備(集約化・森林経営計画)が進まない
  - ・担い手不足
  - ・路網等の基盤整備の遅れ
- ☆木材の出口
  - ・地元製材所等の大口需要先がない

## 林業の現況 (資源の利用状況)

- ・利用の現状: 利用間伐がほとんどない
- ・加工工場の現状: ほとんどない
- ・流通の現状: ほとんどない

## 将来のビジョン

“将来の子・孫に誇れる白鷹の森づくり”

### 短期目標(～5年後)

1. 森林整備の見える化(モデル地区)
  - ① 森林の境界明確化(町)
  - ② 森林経営計画作成(所有者・代理: 森林組合)
  - ③ 路網と森林整備の実施(森林組合)  
⇒森林整備の実施前と実施後を町民に見ていただくツアーを開催、モデル事例を他の地域へ波及
2. 木の良さを感じる
  - ① 公共施設等の木造木質化の推進(町)  
・町づくり複合施設、コミセンへの町産材の利用促進  
⇒木の良さを町民に感じてもらい、町産木材の利用促進を図る
3. 加工施設の強化・整備の検討(民間)

### 町民意識の醸成を図る

4. 林業生産額の目標値  
【現状(H26)】 → 【目標(H31)】  
839万円/年 → 5,000万円/年



## 将来の目標(～50年後)

### 森林の姿

- ☆森林整備が進み、森林のもつ「多面的機能」が持続的に発揮される!
- ☆再造林が行われ、林齢構成の平準化が図られ、「緑の循環システム」が実現される!

### 林業の姿

- ☆町産材がカスケード※2利用され、林業を「産業」としての復活を目指す!

#### 1. 森林施業と木材生産

- ① 森林組合により森林経営計画が策定され、計画的で実効性のある森林施業と木材生産が行われる
- ② 森林組合による長期施業の受委託と提案型施業が行われる
- ③ 森林組合による収益性の高い森林経営が行われる
- ④ 森林所有者へ売上代金の還元が行われる
- ⑤ 適地への再造林が行われる

#### 2. 町産材の有効な利活用

- ① 製材機能が強化される
- ② 地材地住の家づくりが促進される
- ③ バイオマスエネルギー設備導入が促進される

※1「多面的機能」とは、森林の持つ山地災害防止機能、水源涵養機能、保健文化機能、木材生産機能、地球環境保全機能、生物多様性保全機能をいう。  
※2「カスケード利用」とは、木材を建材等の資材として利用した後、ボードや紙等の利用を経て、最終段階では燃料として利用すること。

# 平成28年度白鷹町森林再生事業フレーム

## 森林の現況

### (資源の状況)

- ・面積：10,268ha(林野率65%) 民有林 9,287ha(90%)  
民有林人工林 5,303ha(57%)
- ・蓄積：2,286千m<sup>3</sup>(人・天)
- ・成長量：42千m<sup>3</sup>(人工林)
- ・林齢構成(民有林人工林)：  
I～VII 11%、VIII～X 45%、XI～44%  
⇒利用可能な森林面積が44%
- ・所有者状況：保有面積5ha未満の林家 92%  
⇒小規模な森林所有者が多い

## 境界明確化の課題

### ☆森林の境界が不明瞭

- ・民有林人工林約5,300haのうち、境界がわかって  
いる人工林約2,500haを除く、約2,800haが不明瞭
- ・世代交代等で境界がわからない
- ・山林の地籍調査が行われていない

### ☆森林境界明確化のスピードが上がらない

- ・町職員を中心に直営で明確化作業をしているが、  
所有界が細かく、年平均で50haが限界
- ・このペースだと、完了まで約55年の歳月が必要

## 対策

### 森林・林業再生協議会

#### 1. 森林整備加速化・林業再生整備交付金(国庫補助)

事業主体：白鷹町森林・林業再生協議会  
事業内容：協議会が直営で明確化作業と測量委託  
補助率：国10/10(定額)  
補助金の流れ：国→県→協議会



#### 2. 森林再生事業(町単補助)

事業主体：白鷹町森林・林業再生協議会  
事業内容：地域で自ら境界明確化を実行する地域リーダーの育成と  
その地域リーダーを中心に行われる明確化作業等への支援

- ①境界杭の提供とGPSの貸出、協議会運営費など
- ②現地研修(現地立会調査の仕方、GPSの操作方法など)
- ③室内研修(GPSデータのパソコン取り込み操作方法、  
図面作成の仕方など)

補助率：町10/10

補助金の流れ：町→協議会

### 【現状(H26)】

○森林境界明確化：57ha/年

○リーダーの育成：0人/年

### → 【目標(H30)】

→ 100ha/年

→ 15人/年(累計)



事前調査(情報の整理)



所有者と現地立会い



境界杭打ち



GPSで座標を取る

## スキーム

事業名	H26	H27	H28	H29	H30
森林整備加速化・ 林業再生整備交付金	57ha	56ha	50ha	50ha	50ha
森林再生事業	—	—	5人 (10ha/5人)	5人 (25ha/10人)	5人 (50ha/15人)

A large empty rectangular box with a thin black border, occupying most of the page below the header. It is intended for the user to write or draw their response to the topic.